

東京ベイエリアビジョン（仮称）庁内検討委員会（第2回）（平成31年4月23日）

議事概要

1) 本検討委員会会長から挨拶がありました。

- 「東京ベイエリアビジョン（仮称）」は、大所高所から夢を語る必要がある。一方、実効性も求められる。必ず実現するという気持ちで作業にあたってほしい。

2) 東京ベイエリアビジョン（仮称）の対象エリア（イメージ）について説明しました。

【資料2】

（説明概要）

- 「東京ベイエリアビジョン（仮称）」における対象エリアは青点線で囲んだ範囲をイメージしている。
- 骨格的な交通軸を意識しつつ、各地域の連携の強化を図るなど、各地域の特色をより活かしていく。

3) 東京ベイエリアビジョン（仮称）の構成（案）について説明しました。【資料3】

（説明概要）

- 「東京ベイエリアビジョン（仮称）」の目的は、次世代のまちづくりのモデルとなるベイエリアの将来像を示し、成長戦略につなげていくための総合的なビジョンである。
- 「都市づくりのグランドデザイン」を踏まえ、2040年代のベイエリアの目指すべき将来像とその実現に向けた具体的な戦略、取組を示すものである。
- ベイエリアの現状を踏まえたうえで、強みと活用の方向性を示していく。
- それぞれの強みや特徴を最大限活用しながら、個性ある拠点を有機的に結び付け、区部中心部と臨海部の連携を緊密に強化することが必要である。
- 東京の人口予測や社会状況の変化等を踏まえて、目指すべきベイエリアの将来像を示す。
- 将来像の実現に向けた戦略を5つ挙げており、具体的な取組を掲示していく。

4) 意見

(幹事)

「都市づくりのグランドデザイン」では、分野横断の考えに基づく横串を通したプロジェクト型の都市づくりをどのように展開していくかといったイメージを示した。本ビジョンでも同様に短期的・長期的な視点を踏まえ、プロジェクトに取り組むことが必要ではないか。

(幹事)

先を見据えたビジョンということで、政策企画局、都市整備局、港湾局の三局を中心に取組んでいるところである。幅広に色々なものを取り込んで策定していきたいと考えている。引き続き各局のご協力をお願いしたい。